

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
有価証券の評価基準は原価基準、評価方法は総平均法による。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
当期においては減価償却財産はないが、取得した場合は定額法による。
- (3) 引当金の計上基準
退職給与引当金は、期末退職給与の要支給額を勘案して、庶務委員会で決定した金額である。
- (4) 資金の範囲について
資金の範囲は現金・預金の他、未収金、未払金、前払金、前受金、立替金、預り金等、短期金銭債権債務を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は下記3に記載するとおりである。

2. 会計方針の変更

特になし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基財一定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
負債・退職給付引当資産	2,639,846	2,007,608	0	4,647,454
国際シボジウム引当預金	4,981,980	7,877	525	4,989,332
情報センター運営基金預金	8,009,606	14,545	0	8,024,151
国際交流事業基金預金	8,006,003	9,806	0	8,015,809
国際シボジウム運営基金預金	22,683,546	52,505	0	22,736,051
産学共同研究基金預金	8,008,740	2,022,717	200,000	9,831,457
出版事業基金預金	8,007,502	19,963	0	8,027,465
フルト [®] パソコンシステム技術基金預金	5,005,006	12,512	0	5,017,518
小 計	67,342,229	4,147,533	200,525	71,289,237
合 計	77,342,229	4,147,533	200,525	81,289,237

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基財一定期預金	10,000,000	(0)	(10,000,000)	
小 計	10,000,000	(0)	(10,000,000)	
特定資産				
負債・退職給付引当資産	4,647,454	(0)	(0)	(4,647,454)
国際シボジウム引当預金	4,989,332	(0)	(0)	(4,989,332)
情報センター運営基金預金	8,024,151	(0)	(0)	(8,024,151)
国際交流事業基金預金	8,015,809	(0)	(0)	(8,015,809)
国際シボジウム運営基金預金	22,736,051	(0)	(0)	(22,736,051)
産学共同研究基金預金	9,831,457	(0)	(0)	(9,831,457)
出版事業基金預金	8,027,465	(0)	(0)	(8,027,465)
フルト [®] パソコンシステム技術基金預金	5,017,518	(0)	(0)	(5,017,518)
小 計	71,289,237	(0)	(0)	(71,289,237)
合 計	81,289,237	(0)	(10,000,000)	(71,289,237)